

# 施策評価(令和元年度)

## 1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	とものつくる住みよい地域社会の実現
施策	13	共生社会
基本方針		
多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重しあい、地域でともに生きる社会を目指します。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">男女共同参画の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">市民ボランティア活動および外国人市民への日本語指導などの支援</a>	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">国際交流事業の推進</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策13「共生社会」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「市民ボランティア活動および外国人市民への日本語指導などの支援」では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外国籍市民支援団体との連携事業を中止としたことから、「計画を見直し完了」と評価している。その他の2事業については、「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重しあい、地域でともに生きる社会を目指す」ことであり、「男女共同参画の推進」においては、「第4次羽村市男女共同参画基本計画」に沿ったさまざまな取り組みを実施することで、男女共同参画の基本的な考え方を市民等へ浸透させていく上で、一定の効果を発揮している。</p> <p>また、「国際交流事業の推進」では、市民だれもが地域でともに生きる社会の形成に必要不可欠である国際交流の促進を図るため、東京2020大会を契機とした取り組みとして、羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート、羽村市・キルギス共和国友好親善コンサートに合わせた「関連展示」、「キルギス共和国の文化紹介」、「国旗塗り絵ワークショップ」、「多文化共生事業の紹介」、「関連図書の展示」を行うなど、上記の取り組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られたものと評価する。</p>
---

1.基本項目	作成部署	企画総務部		企画政策課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 男女共同参画の推進	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01		年			○
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課	子育て相談課、健康課、生涯学習センターゆとろぎ				
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	13	共生社会	管理No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、地域とともに生きる社会を目指します。
事業内容	男女共同参画の考え方が市民や地域、企業などに浸透し、それぞれが主体的に取り組めるよう、啓発活動を行うとともに、「女性の活躍推進」や「あらゆる暴力の根絶・安心な暮らしの実現」などに関する事業に取り組みます。
根拠法令	男女共同参画社会基本法
条例	羽村市男女共同参画基本条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	男女共同参画推進会議 5回	同左 4回	同左 4回	同左 4回
	意識啓発事業 (男女共同参画週間、女性に対する暴力をなくす運動、啓発記事「Weave」「ミニコラム」の掲載)	同左	同左	同左
	女と男、ともに織りなすフォーラム 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	男女共同参画研修会1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	家事・育児参画推進講座 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	女性のチャレンジ支援・キャリアデザイン支援セミナー 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	192 H	1人	192 H	1人	192 H	1人	192 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H	1人	480 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	1,303	901	901	901
人件費(係長職)	923	923	923	923
人件費(主任・主事職)	1,515	1,515	1,515	1,515
総事業費(合計)	3,741	3,339	3,339	3,339
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	3,741	3,339	3,339	3,339
財源内訳(合計)	3,741	3,339	3,339	3,339

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

「第4次羽村市男女共同参画基本計画」に沿って、啓発事業や講座等を実施したほか、男女共同参画推進会議を3回開催(新型コロナウイルス感染拡大予防のため1回中止)し、市の男女共同参画に関する取組みに対し、ご意見をいただいた。

啓発事業では、毎年実施している男女共同参画週間啓発事業や女性に対する暴力をなくす運動、女と男、ともに織りなすフォーラムを開催するとともに、広報はむら等に啓発記事の掲載を行った。講座等では、女性の社会復帰を支援するための女性のキャリアデザイン支援・チャレンジ支援講座や、父親の育児参画を促す家事・育児参画推進講座、市職員向けの研修会を、関連各課と連携して実施した。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため実施できなかった市民向けの男女共同参画研修会については、次年度以降の実施を検討する。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	901	-	901	568	63.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	192 H	1人	192 H
主事・主任職	1人	480 H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画推進会議 4回</li> <li>○意識啓発事業(「Weave」「ミニコラム」の掲載)</li> <li>○女と男、ともに織りなすフォーラム 1回</li> <li>○男女共同参画研修会 1回</li> <li>○家事・育児参画推進講座 1回</li> <li>○女性のチャレンジ支援・キャリアデザイン支援講座 2回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画推進会議 3回</li> <li>○意識啓発事業(「Weave」1回「ミニコラム」2回)</li> <li>○女と男、ともに織りなすフォーラム 1回</li> <li>○男女共同参画研修会 0回</li> <li>○家事・育児参画推進講座 1回</li> <li>○女性のチャレンジ支援・キャリアデザイン講座 2回</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<b>妥当性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>効率性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
<b>有効性</b> <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

多様な価値観や文化を持った市民だれもが、地域でともに生きる社会を形成するため、「第4次羽村市男女共同参画基本計画」に沿って、さまざまな事業を実施することで、男女共同参画に関する意識啓発を行った。これらは男女共同参画の基本的な考え方を市民等へ浸透させていくうえで、一定の効果を発揮しているものと捉えている。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

**【改善点】**

**【今後の取組方針】**

男女共同参画社会の実現のためには、継続的な意識啓発を行い、市民や事業者の意識を変えていく必要があることから、第4次羽村市男女共同参画基本計画に基づき、引き続き、啓発事業等に取り組んでいく。事業の実施にあたっては、輝プロジェクトの視点を基に、組織横断的な視点を持ち、効果的かつ充実した内容を検討し、事業の充実を図っていく。また、事業に対する参加者の満足度は高いことから、さらに多くの方に参加してもらえよう、関連部署と連携した周知方法等を検討していく。

1.基本項目		作成部署	市民生活部		地域振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法 プロジェクト
00	市民ボランティア活動および外国人住民への日本語指導などの支援	不明	年	継続	自治事務(市独自) 直営 ○
01			年		
02			年		
03			年		
04			年		
05			年		
関連課					
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	13	共生社会	管理No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重しあい、地域とともに生きる社会を目指します。
事業内容	外国人住民を対象に、日本語指導や市民生活に必要なルール説明などを行う市民ボランティア活動や、東京2020大会を契機に来日する外国人観光客などに対する案内等のおもてなしを行う市民ボランティア活動を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供	同左	同左	同左
	日本語指導団体との連携 東京2020大会に向けたボランティア事業の検討	同左 東京2020大会に向けたボランティア事業の実施 1回	同左	同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	54H	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	40H	1人	80H	1人	40H	1人	40H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費		25		
人件費(係長職)	193	260	193	193
人件費(主任・主事職)	127	253	127	127
総事業費(合計)	320	538	320	320
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	320	538	320	320
財源内訳(合計)	320	538	320	320

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物) の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供として、問合せに対する外国籍市民支援団体を紹介し、日本語指導団体との連携では、世界の文化講座(座学講座)「キルギス共和国の食文化を知ろう!」、世界の文化講座(料理講座)「キルギス共和国のおいしい料理を作ろう!」を開催し、外国籍市民支援団体との連携事業(団体主催・市後援事業)は、1回開催(新型コロナウイルス感染拡大予防のため1回中止)した。

また、世界の文化講座(座学講座)「キルギス共和国の食文化を知ろう!」については、東京2020大会に向けたボランティア事業も兼ねている。

- ・世界の文化講座(座学講座)「キルギス共和国の食文化を知ろう!」:8月24日 参加者35人
- ・世界の文化講座(料理講座)「キルギス共和国のおいしい料理を作ろう!」:10月6日 参加者20人
- ・外国籍市民支援団体との連携事業(団体主催・市後援事業):第1回9月7日 参加者9人、第2回3月7日(中止)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	25	-	25	47	188.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	54 H	1人	54 H
主事・主任職	1人	80 H	1人	80 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供 ○日本語指導団体との連携 ○東京2020大会に向けたボランティア事業の検討		○市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供 ・問合せに対する外国籍市民支援団体の紹介 ○日本語指導団体との連携 ・世界の文化講座(座学・料理講座) 座学講座:東京2020大会に向けたボランティア事業を兼ねる ・外国籍市民支援団体との連携事業

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

東京2020大会を契機とした市民講座や、外国籍市民支援団体との連携事業を実施し、多様な価値観や文化を学ぶ機会を設けることで、性別や国籍などにとらわれず、お互いを尊重しあい、地域でともに生きる社会の実現に向けた支援を行った。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重しあえる地域づくりを支援する。

1.基本項目	作成部署	企画総務部		企画政策課	
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 国際交流事業の推進	不明	年	継続	自治事務(市独自)	直営
01		年			
02		年			
03		年			
04		年			
05		年			
関連課	東京オリンピック・パラリンピック準備室				
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	13	共生社会	管理No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重し合い、地域とともに生きる社会を目指します。
事業内容	東京2020大会に向けた取組みを契機に、海外の都市との交流や国際交流団体と連携した外国人との交流事業などの推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	国際交流団体等の発掘	同左	同左	同左
	国際交流に関する情報収集	同左	同左	同左
	西多摩地域広域連携によるホストタウン登録申請	同左	広域的取組みの実施	
		東京2020大会を契機とした海外都市との交流事業の検討	東京2020大会を契機とした海外都市との交流事業の検討・実施	

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費				
人件費(係長職)	481	481	481	481
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	481	481	481	481
2 国庫支出金				
2 都支出金				
2 受益者負担額				
9 その他特定財源				
8 一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	481	481	481	481
財源内訳(合計)	481	481	481	481

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  における1  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

国際交流に関する情報収集を行うとともに、羽村市・キルギス共和国友好親善コンサート「関連展示」において、羽村市・キルギス共和国友好親善コンサートに合わせた「関連展示」、「キルギス共和国の文化紹介(ユルタ・民族衣服の展示、映像放映)」、「国旗塗り絵ワークショップ」、「多文化共生事業の紹介(キルギスの食文化など)」、「関連図書の展示」などを行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	-	-	-	-	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際交流団体等の発掘(通年)</li> <li>○国際交流に関する情報収集(通年)</li> <li>○西多摩8市町村におけるホストタウン登録に向けた交流計画の検討</li> <li>○東京2020大会を契機とした海外都市との交流事業の検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際交流団体等の発掘(通年)</li> <li>○国際交流に関する情報収集(通年)</li> <li>○西多摩8市町村におけるホストタウン登録に向けた交流計画の検討</li> <li>○東京2020大会を契機とした海外都市との交流事業の検討</li> <li>○国際交流に係るワークショップの実施 1回</li> </ul>

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>A</b>
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	<b>A</b>

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

多様な価値観や文化を持った誰もがともに生きる社会の形成には、国際交流の促進が必要不可欠であり、令和元年度は、東京2020大会を契機とし、キルギス共和国をテーマとしたワークショップ等を行ったことで、国際交流のきっかけとなる多文化の理解を促すことができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

東京2020大会に向けた取組みや、ホストタウンとしての取組みを契機とした海外都市との交流事業について、令和元年度に実施した事業などを基に引き続き検討していく。